



迷子になったワンちゃんが…



チップのおかげで無事 飼い主のもとに帰りました



2014年4月15日收容、同日返還
ワンちゃんの出来事です

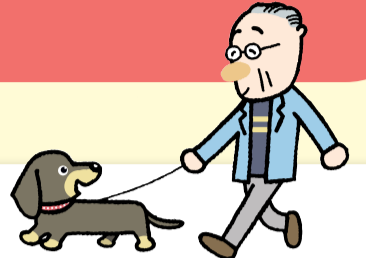


4月半ばの夜中のことです。3歳のヨークシャー・テリアの女の子が、家を飛び出し、行方不明になってしまいました。ただ一人の家族だったご主人は、夜通し懸命に探しましたが、見つけることは出来ませんでした。

翌朝、ワンちゃんは保護されて保健所にやってきました。犬鑑札をつけていたため、飼い主情報が判明しましたが引越しのときに市に届け出ていなかったため、古い連絡先しかわかりませんでした。しかし、**マイクロチップ・リーダー**で確認すると、**マイクロチップ**番号が読み取れたので、(公社)日本獣医師会が管理する**データベース**で照合すると、**携帯電話番号だけは変わっていません**ため無事、飼い主の元に帰ることができました。



2013年6月5日收容、6月7日返還
ワンちゃんの出来事です



5月のある昼下がりのことです。1歳のミニチュア・ダックスフントの女の子が、ご主人と散歩を楽しんでいました。しかし、ご主人は訪れたお店で突然、倒れてしまい、そのまま救急車で搬送されてしまいました。ワンちゃんはそのままだけで、店先に取り残されてしまいました。ワンちゃんの家族は、ご主人だけでしたので、通行人もお店の方も事情がわからず心配するばかりでした。

ご主人は入院してしまったため、迷子連絡もできませんでした。ワンちゃんを預かった動物病院が、**マイクロチップ・リーダー**で確認すると、**マイクロチップ**番号が読み取れました。この番号を、(公社)日本獣医師会が管理する**データベース**で照合することで飼い主名・住所等が判明しました。幸い、ご主人は大事に至らず退院できたので、**ワンちゃんも無事に飼い主のもとに帰ることができました**。



2013年12月16日收容、同日返還
ワンちゃんの出来事です



12月半ばのことです。もうすぐ6歳になるラブラドル・レトリバーの女の子が、庭でつながれているリードを擦り切って、外に逃げ出してしまいました。飼い主家族みんなで探していたところ、数百メートル離れた住宅街で、警察によって保護されました。

このワンちゃんには、**マイクロチップ**が埋め込まれていたため、動物愛護センターが**マイクロチップ・リーダー**で確認すると**マイクロチップ**番号が読み取れました。この番号を(公社)日本獣医師会が管理する**データベース**で照合すると、**飼い主名・住所等が判明し無事、飼い主のもとに帰ることができました**。



ネコちゃん
飼い主Aさんの話

外国から犬や猫をつれて帰国するときは、**マイクロチップによる個体識別が必要です**。



日本に、愛猫2匹を連れて帰国することが決まった時は、入国に際し無事に動物検疫を通すことができるか、すごく不安でした。動物検疫がうまく通過できないと、最大で180日間の繋留期間(狂犬病でないかどうかを観察する期間)があると聞いていました。もし、そのようなことになったら、大切な猫たちには大きなストレスになってしまうだろうと思ったからです。

でも、個体識別用の**マイクロチップ**を猫たちに埋込み、動物検疫に必要な諸書類を作成して日本の動物検疫所まで来てみると、**マイクロチップ**番号をリーダーで読み取って書類と照合する等で、ごく短時間で通過することが出来ました。たしか1時間もかかりませんでした。**マイクロチップ**のおかげで、簡単かつスピーディーに個体識別ができて、ペットを連れての海外間の移動もずいぶん楽になったんだと思います。

これからはしばらく日本で生活する予定です。せっかく**マイクロチップ**が埋め込まれているので、万一日本で**迷子になったときのためにデータベースに登録**しました。

迷子、盗難防止に効果、 災害時のペットにも 安心を!



地方行政での
マイクロチップ普及の
取り組みだワン!

ペットの身元表示(所有明示)は、「動物愛護管理法」で飼い主の方の努力義務とされています。

多くの県や市などの行政機関では、ワンちゃん・ネコちゃんが万一迷子になった場合や、災害等不測の事態で飼い主と離ればなれになっても、無事にもどることを可能とする身元表示(所有明示)の方法として、現在最も確実性のある**マイクロチップ**を埋込むことを推奨しています。

身元表示(所有明示)をすることで、不測の事態に遭遇したワンちゃん・ネコちゃんが、飼い主の方が分からないために殺処分されてしまうことをなくすることも可能となります。

また、(公社)日本獣医師会では、ペットの所有明示・個体識別用の**マイクロチップ**をさらに普及する環境整備に役立てるため、動物用医薬品等の関係企業の協力を得て、平成25年度までに全国の自治体保健所・動物愛護センター等に約140台の**マイクロチップ**番号読み取り用リーダーを寄贈しています。